

< 新町会長紹介（2町会）>

大森駅前住宅自治会

こしま としひこ
小嶋 敏彦さん

小嶋会長は、昭和15年生まれの73歳です。

千葉市で生まれ、大空襲からも逃れ、昭和55年9月に、代々木上原から大森駅前住宅に入居されました。当時、小嶋会長は奥様と3歳半・1歳半の娘さん2人との4人暮らしでした。その時から、娘さん達には大森駅前住宅が「ふるさと」なんだよと言いつけていたそうです。

小嶋会長がお話になるには、「ふるさと」ということばは、快い響きと郷愁があり、人格形成期の大切な思い出がいっぱい詰まっているように感じられるということです。

大森駅前住宅では、お互いを大切に、お年寄りも生きがいをもち、安心して暮ら

せるコミュニティづくりをめざし、大森駅前住宅が「ふるさと」だと誇れる地域にするよう頑張りたいとのことでした。

小嶋会長からお話をお伺いし、とても頼もしく感じられ、今後のご活躍を期待いたします。

文責 宮川



鈴ヶ森町会

ありま のりひさ
有馬 紀久さん

私は、この度鈴ヶ森町会会長に就任し、その重責と不安を感じているところです。さて、最近の地域社会に於いては、少子高齢化が進むにつれ年々町会の活動に参加する住民も減少し、地域の連帯感の希薄化が進んでいるように思います。

東日本大震災後、緊急時災害の備えとして、地域に住む住民同士による助け合いの重要性が一層注目されています。いざという時に期待される地域の力を発揮するためには、日頃の訓練、知識の備えも勿論大切ですが、何より普段の近隣住民同士の交流が不可欠です。

我々町会といたしましては、町会活動を通じて人と人との触れ合いを大切に、地域の皆様との交流を更に深められるような行

事を積極的に企画出来ればと思っています。また、楽しい交流イベントだけではなく防犯パトロール、交通安全の呼びかけ、一人暮らし高齢者への見守りや清掃等を行い、安心、安全、住みやすい街づくりを目指し、積極的に取り組む所存でございますので、皆様方の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。



石川県出身の72歳です。

この「大井第一マイ・タウン21」は、区のホームページにも掲載されています。ホームページは写真やイラストがカラーで、とても見やすくなっております。是非こちらもご利用ください。検索は、「品川区ホームページ」「暮らし」「地域センター・区民集会所」「大井第一地域センター」「大井第一マイ・タウン21」。アドレス=<http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>